



Japan Yunnan
Friendship Association

彩雲の南

総会特別号

NPO 特定非営利活動法人
日本雲南聯誼協会事務局
〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-1-1
JR 東急目黒ビル 7F
TEL(03)5435-5977, FAX(03)5435-5978
http://www.jyfa.org
編集・発行人 初鹿野恵蘭
2004年7月5日発行



第4回定時総会・懇親会

2004.6.19(土) 於 ホテルメトロポリタンエドモント
雲南省友好訪日団の8名と共に



2004年6月19日(土)、皆様のおかげをもちまして無事に第4回定時総会・懇親会を終えることができました。和服姿の中村有里子理事の司会、唐澤英安理事の開会の挨拶に始まり、雲南省海外聯誼会副会長張功祥氏ら8名の雲南省からのご来賓が会場。支援者の天真奨学金青木宏之様より祝辞をいただきました。議事では、当協会の2003年度(2003年4月~2004年3



のようです」と祝辞をいただきました。また、閉会の言葉では、当協会の北原茂実理事から、「これからも目標を持って着実に活動していきましょう」との言葉をいただき、一本締めで懇親会の幕を閉じました。ご出席くださった会員や関係者みなさま、本当にありがとうございました。

月)の活動報告・収支決算報告・承認をおこなうとともに、平成16年度の活動予算の審議・承認を行いました。

総会には100名ほどの会員・関係者の方が出席してくださり、国内の会員では、福岡や大阪、兵庫、愛知、長野、静岡、千葉...などなどお忙しい中全国からお集まりいただきました。雲南省から来たお客様たちはそれぞれチベット族やイ族などの衣装をまとうてのご参加で、総会の会場は和服・洋服・中国の民族服と揃い、とても華やかになりました。

総会後の懇親会では胡弓や琵琶の演奏、歌、阿波踊りと多彩なアトラクションがめじろ押しで、阿波踊りの場面ではたくさんの方が参加し楽しく一緒に盛り上がる一幕もありました。また、中国大使館の黄星原参事官・湘南日中友好協会の小松みどり理事長・法人会員JR総連の山下信二書記長からそれぞれ祝辞をいただきました。日本財団国際部の森祐次様からは、「日本・雲南聯誼協会の4年間の活動を見て、こんなに素晴らしい活動をされていて驚いた。もう10年以上活動している団体

事前の準備や受付、写真・ビデオ撮影、看板の取り付け作業や荷物運搬など、ボランティアで裏方のお手伝いをしてくださった皆様方に心より感謝申し上げます。

雲南省からの8名は日本の古都京都・奈良を訪問し、再び東京に戻り、中国大使館や北原病院、日本財団など関連機関の訪問や、現在の当協会のプロジェクトについて視察し、27日、無事帰国しました。

来年の総会後の懇親会は雲南省でこれまで建設した小学校を巡り、子供たちと交流しながらの懇親旅行を行う予定です!

今回来日した雲南海外聯誼会のメンバー

- ・団 長:張 功祥 ZHANG GONG-XIANG (雲南海外聯誼会・副会長)
- ・副団長:楊 守修 YANG SHOU-XIU (雲南省財政庁・副庁長雲南海外聯誼会・副会長)
- ・羅 嘉福 LUO JIA-FU (雲南省教育庁・副庁長/雲南海外聯誼議会・理事)
- ・尹 日葵 YIN RI-KUI (昆明市衛生局・局長/雲南省華僑聯合協会・副主席)
- ・狄 君勝 DI JUN-SHENG (昆明市華僑聯合協会・主席/雲南海外聯誼会・理事)
- ・楊 平 YANG PING (昆明延安医院・副院長/雲南海外聯誼会・理事)
- ・何 原文 HE YUAN-WEN (雲南海外聯誼会・秘書長)
- ・陳 志 CHEN ZHI (雲南海外聯誼会・理事)

初鹿野理事長からのご挨拶(一部略)

皆様、本日はお忙しい中当協会の第四回定時総会・懇親会にお越しく
 ざり、誠にありがとうございます。

2000年6月24日、様々な分野で活躍する、志ある日本の友人たちと共に
 日本・雲南聯誼協会を設立しました。当協会のはじまりは、日本の友人たち
 に雲南省を理解し、愛し、支援してもらいたいという想いです。雲南省の教
 育環境を整備することは最も基本的で、最も重要なことです。

2003年度は、協会の活動が最も大きく発展し、多忙を極めた一年になり
 ました。すべての会員が協会の志に賛同し様々な場面で貢献してくださ
 り、また、各プロジェクトを主に担当した理事・顧問・会員は皆、大きな役割を果
 たしてくださいました。ここに改めて感謝の意を表します。

今後も、教育支援を中心とした協会の活動をますます発展させながら、
 日中両国の未来に少しでも貢献できたらと考えております。



初鹿野理事長の挨拶は、雲南からのお客様を配慮して中国語で行いました。
 総会の同時通訳は麻野久美さん

雲南省・張功祥団長からのご挨拶

尊敬する日本の皆様こんにちは。今回は、日本にお招きいただき
 本当にありがとうございます。日本・雲南聯誼協会の活動は教育支
 援・医療・環境保護と多方面にわたり、これまで雲南省に多大なる貢
 献をいただきました。この度、我々友好訪日団は来日し、ここにいら
 っしゃる日本の友人の皆様これまでの雲南省への暖かい支援と注
 いでくださった愛情に感謝の意を表したいと思ひます。皆様の「一番
 重視すべきは将来を担う子供のための教育である」という考え方に
 我々も大いに賛同し、今後も雲南省政府は日本・雲南聯誼協会に協
 力し、共に日中友好のために力を尽くしたいと思ひます。



雲南友好訪日団の団長・雲南海
 外聯誼会・副会長の張功祥様よ
 りご挨拶 チベット族の衣装で

唐澤英安理事より開会のことは



総会には、会員・関係者が100名ほど参加しました。

**議長を務めてく
 ださった
 小山久子顧問**



**杉谷隆志専務
 理事が、雲南
 のお客様の来日
 を心より歓迎
 しました。**



**支援者の
 青木宏之様
 より祝辞を
 いただきま
 した。**



総会の受付にて 着物やチャイナドレスの受付嬢です





佐竹さんら6人の阿波踊りに会場は大盛り上がり

みなさんもう「一緒に踊ろうぞー！」



当協会会員高山千代美さん 中国語で「大海故郷」を披露してくれました



二胡奏者張勇さん 癒しの音色が会場を包みます

初鹿野理事長と雲南の張功祥団長



祝辞をいただきました。 謝謝！

- ・日本財団 森 祐次様
- ・中国大使館 黄 星原様
- ・湘南日中友好協会 小松 碧様(会員)
- ・天真奨学金 青木 宏之様
- ・JR総連(法人会員) 山下 信二様

電報をいただきました。

- ・衆議院議員 海江田万里様
- ありがとうございます。

豊富なアトラクションの数々



涂善祥さんの琵琶と歌

黄報道参事官は協会設立以来常に私たちを温かく見守ってくださっています。今回もお忙しい合間を縫って駆けつけてくださいました。



中国大使館黄星原報道参事官より



JR総連山下信二様より祝辞



湘南日中友好協会 理事長小松碧様より祝辞



日本財団 森祐次様より祝辞

懇親会の最後は日本式の「一本締め」で。北原茂実理事より閉会の言葉とともに雲南省のお客様へ一本締めのご指導です。雲南のみなさんも興味津々。一同の息がぴったり合った一本締めで、大いに盛り上がった懇親会は幕を閉じました。



日本・雲南聯誼協会の4年間の活動のスライドをみて、その活動内容の素晴らしさ、たった4年でこんなに多くの実績をあげられるのかとびっくりしました。今後も今まで以上の活躍を期待しております。 森様の祝辞より



チベット族の衣装がお似合いです。



張団長(右)より友情の印としてチベット族の衣装を贈られた片岡顧問(左) 友情の乾杯を交わす



阿波踊りが終わって雲南のお客様たちと。

雲南友好訪日団
日本訪問記
 6/18(金)-27(日)



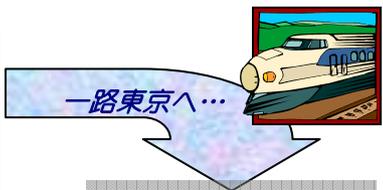
清水寺で長寿の水を飲みました。



6/19(日)-21(月)当協会の総会・懇親会に出席した訪問団、翌日、初めての新幹線に乗って、日本の古都奈良・京都を訪ねました。片岡巖顧問と初鹿野理事長の同行の下、日本文化を十分に堪能しました。



6/21(月)京都では、支援者である総合食品SE株式会社の上池正弘社長を訪ねました。
 ←左から2番目が上池社長

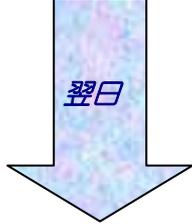


吉野家で日本のファーストフードの味にチャレンジ!



6/23(水)一行は中国大使館と北原脳神経外科医院を表敬訪問。夜は北原先生主催の歓迎会が八王子で行われ、遅くまで楽しく交流しました。

ペー族の衣装をもらった北原理事(後ろ真中) 北原脳神経外科のスタッフたちと一緒に 八王子で



皆さん車が本当に大好き。展示されている自動車は試乗できるので、運転も、そして写真撮影も真剣そのものでした。



来日団の付き添いをしてくださいました、いつも協会のお手伝いしてくれている記者の曹光さん。

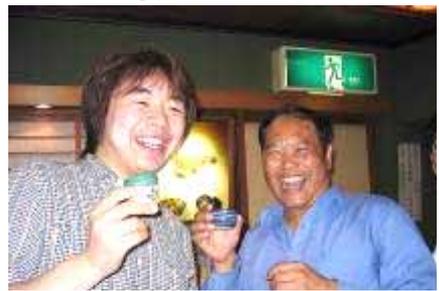
6/24(木)日本財団を表敬訪問しました。来年度からスタートするアジアの小学校プロジェクトについての話などが交わされました。



トヨタの全車種が展示されている 池袋 AMULAX で

日本財団にて

6/26(土) 25日には箱根へ、26日は千葉へと、忙しい日程ながらも1週間をみなさん笑顔で過ごすことができました。日本最後の夜、片岡巖顧問主催の送別会が新宿で行われました。皆すっかり打ち解け、何度乾杯したでしょうか、疲れも忘れて大合唱。
 そして翌27日早朝、雲南友好訪日団一行は無事中国へ帰国しました。



送別会で 最高の笑顔、雲南の歌・日本の歌を大合唱しました。

